

## 25 フットケア専門外来の開設と今後の課題

病院看護部 外来・入所者診療室 中島美香 西川民子 酒井陽子 飛松好子  
山崎伸也 高嶋孝倫 関口進 倉持房子

### 1. はじめに

足は第二の心臓と言われ、足をケアすることは患者の健康を支援し、QOLを高めることである。外来診療の中で、爪切りや足に関して様々な相談を受けることが多く、フットケアのニーズに応えたいと考え、平成20年7月より他職種の協働で、足について気軽に相談しケアを受けることの出来る「フットケア専門外来」を開設した。

### 2. フットケア専門外来の目的

- 1) 疾病や障害の有無に関わらず、足について受診し相談できる場を提供する。
- 2) 患者のニーズに合わせて、専門性を活かしたケアの提供をする。

### 3. 開設の経過

平成20年4月よりフットケア専門外来開設に向け具体的検討を開始した。医師・看護師・補装具製作部・理学療法士・医事管理課をメンバーとして運営会議を重ねた。その結果、毎週火曜日午前中、場所は内視鏡室を使用した外来を7月1日から開始することができた。予想よりも受診者数が多く待ち時間が生じたため、予約制を導入し待ち時間の縮小に努めた。当院受診者だけでなく、その家族やホームページを見ての受診者もあり、開設より10月末までの受診者数は、延べ187名であった。

### 4. 運営内容

受診目的では白癬、爪変形、装具の相談、足変形が多かった。また、診療内容では、爪きり、装具の相談、足底圧測定、白癬検査の順であった。医師は治療・処置、看護師は爪切りをはじめとする足の直接ケアと、足病変の予防についての指導、補装具製作部は足底板や靴・装具の修正や作製を行っている。また、理学療法部門は立ち方や歩き方の指導を行い、医事管理課は診療報酬や運営について担当している。それぞれの専門性を活かしたチーム運営に努めている。

### 5. フットケア専門外来の成果

- 1) 1人の患者に対して、他職種が専門性を持って多角的に関ることが出来る。
- 2) ケアを通して、患者にフットケアグッズの紹介やアドバイスが容易になった。
- 3) 患者が希望しているケアグッズをセンター売店で購入できるように調整し、患者が利用しやすくなった。

### 6. 今後の課題

- 1) 専門外来の特性を活かし、患者に十分なケアを行うためのマンパワーの確保が必要である。
- 2) フットケアに関する知識・技術の向上を図り、スタッフの育成と患者指導に活かす。
- 3) 専門職のフットケア提供にふさわしい、診療報酬上の適切な算定を検討する。

### 7. おわりに

平成20年度より糖尿病足病変の重症化予防のフットケアが診療報酬上の評価を得たことで、糖尿病患者対象のフットケア専門外来が増加している。しかし、当院の外来は、疾病や障害の有無に関わらずだれでも受診できると患者に好評である。今後も、「フットケア専門外来」を通して、足病変の予防と悪化の防止、患者のQOLの維持・向上をサポートしていきたい。